

天溪 2014 年「紅葉のカナディアンロッキー 9 日間」

第 2 部

旅の後半は秘境スコークバレーを進みスコークロッジへ。何時もこの時期、日に日に日の入りが早く感じられます。北緯 50 度、この地の秋はツルベ落としどころかスカイダイブ並みに急降下、と言うのも毎日朝と晩 2〜3 分短くなります。要は 1 日 5 分ほど、10 日で小一時間短くなるからです。



(スコークロッジ 9/22 日)

○スコークへ

快晴のジャスパーからバンフに戻り今後の天気を調べたところ、1 週間は続くはずの晴天が明後日から突然雨マーク。インディアンサマーは終りかなと嫌な予感、と言うのも終わると数日天気がグズツキ、気温も降下するからです。ともあれ、初日のスコークバレーは何とか持ってくれて秋晴れの中、綺麗に染まったカラマツの黄葉を眺めながら、パッカーズパスを越えスコークロッジへ向いました。



(パッカーズパス 9/22 日)





○スコーク

予報はぴったり当たって朝から小雨。予定していたマリーナレイクを変更し、スコーク山一周ハイキングへ。スコークロッジはレイクルイーズスキー場の真裏奥に位置し、ロッジ以外にテント場が数ヶ所あるのみで殆どハイカーは入りません。そんなところは熊さんの格好の行動範囲。下の写真は冬眠を迎える熊が栄養を取るために地リスを狙って掘った後、ご馳走に有りつけたかどうか?? 一方、高いポールはテント場の食糧保管場所。

なお、この地域は4人以上のグループでハイキングするように“リコメンド”されています。



(スコーク山 9/23 日)



○その他

下の写真は剥製では有りません。早朝、バンフのホテル前に現れたエルク。お腹が空いているのか花壇の植物をパクパク。大自然に囲まれたバンフならではの光景です。 尚、エルクは時として大きな角で危害を加える事が有り 5m 以上近づかないようにお願いします。



(ホテル前のエルク 9/25 日)

天溪ツアーは1ヶ月のお休みをいただき、今年最後のツアー、11月5日発「エベレスト街道 タンボチェ及びカラパタール」をお伝えします。

記 天溪 赤沼